

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築学C A D演習	
科目基礎情報							
科目番号	94031			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻C			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	前期:4		
教科書/教材	特に指定しない／適宜資料等を閲覧、配布、「Vector Works 徹底解説 基本編（活用編）」長谷部真 著 エクスナレッジ						
担当教員	三島 雅博,前田 博子						
到達目標							
(ア) 2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。 (イ) 発想、コンセプトが豊かである。 (ウ) 3次元C A Dの特性が発揮された作品である。 (エ) より高度なCADの技術の習得とプレゼンテーションに対する努力が提出物に表現されている。 (オ) プレゼンテーション（作品発表）によって、設計の意図を十分に伝達することが出来、また、質疑に対し適切な説明が出来る。 (カ) 与えられた期間内に課題を作成する計画をたて、提出できる。							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(優)			最低限の到達レベルの目安(良)		最低限の到達レベルの目安(不可)	
評価項目(ア)	2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。			2次元及び3次元CADの基本操作技術がおおよそ身についている。		2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についていない。	
評価項目(イ)	発想、コンセプトが豊かである。			発想、コンセプトが形成できる。		発想、コンセプトが形成できない。	
評価項目(ウ)	3次元C A Dの特性が発揮された作品である。			3次元C A Dの特性がおおよそ発揮された作品である。		3次元C A Dの特性が作品に発揮されていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B1 数学・自然科学・情報技術の基礎を身につける JABEE c 数学及び自然科学に関する知識とそれらを用いる能力 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを用いる能力 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力							
教育方法等							
概要	3次元CADの操作技術を習得し、建築設計における高度な作図・プレゼンテーション技術を身につける事を目標とする。						
授業の進め方・方法	課題は前後半の2課題とし、いずれも全国レベルの設計コンペティションを課題テーマとする。最終的にC A Dによるドローイング・プレゼンテーションを作成する。基本的な操作・作図にとどまらず、高度な表現技術の習得への試みを求める。						
注意点	3次元C A Dソフトの基本的操作を習得していることが望ましい。毎週の自宅でのエスキース作業が求められる。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	第1課題ガイダンス：課題説明（課題意図、敷地、構造規模、提出物、予定）。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		2週	設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		3週	設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		4週	設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		5週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		6週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		7週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		8週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑		上記（ア）（イ）（ウ）		
	2ndQ	9週	第2課題ガイダンス：課題説明（課題意図、敷地、構造規模、提出物、予定）。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		10週	設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		
		11週	設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換。自宅においてもエスキースを行う。		上記（ア）（イ）（ウ）		

		12週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。	上記（ア）（イ）（ウ）
		13週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。	上記（ア）（イ）（ウ）
		14週	3次元データ入力・チェック 自宅においてもエスキースを行う。	上記（ア）（イ）（ウ）
		15週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑	上記（ア）（イ）（ウ）
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	課題	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
専門的能力	50	50	100